

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日		校 長 名		所 在 地	
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日		千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番1他 (電話) 042-637-3111	
設 置 者 名		設立認可年月日		代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 片柳学園		昭和25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111	
目 的	常に新鮮なる人材を要望される現代社会に対応し、専門の学理と技術を身に付け、職業人としての 自負と実力を蓄え、もって社会の中堅たり得る人材を養成する。ロボット科ではメカトロニクスシステムの製作と制御を通じて実践的な機械設計・制御のスキルを持った技術者の養成を目的としている。						
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
工業	工科技術専門課程	一級自動車整備科	4年 (昼)	3690単位時間 (又は単位)	—	平成21年文部科学 大臣告示第25号	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		990単位時間 (又は64単位)	—単位時間 (又は単位)	—単位時間 (又は単位)	2700単位時間 (又は80単位)	—単位時間 (又は単位)	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		115人		4人	3人	7人	
学期制度	■前学期：4月1日～9月30日 ■後学期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S：90点以上 A：80～90点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下は不合格 P：単位認定		

長期休み	■学年始め ：4月1日 ■夏 季 ：7月21日～8月31日 ■冬 季 ：12月23日～翌年1月8日 ■春 季 ：3月18日～3月31日 ■学 年 末 ：3月31日	卒業・進級条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること
生徒指導	■クラス担任制 （有・無） ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。	課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展覧会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動 （有・無）
就職等の状況	■主な就職先、業界等 アウディジャパン販売(株) フォルクスワーゲンジャパン販売(株) (株)ヤナセ ■就職率 ※1 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ※2 96.4% ■その他（任意） （平成25年度卒業者に関する平成26年4月時点の情報）	主な資格・検定	一級小型自動車整備士、 二級ガソリン自動車整備士、 二級ジーゼル自動車整備士、 危険物取扱者、 ガス溶接技能講習、 アーク溶接特別教育、 職業訓練指導員（ほか）
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 0.9% 平成25年4月1日在学者 115名（平成25年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 108名（平成26年3月卒業生を含む）休学6名含まず ■中途退学の主な理由 進路変更・就職、経済的理由、病気療養・怪我治療 ■中退防止のための取組 担任と科長による面談、懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		
ホームページ	URL： http://www.neec.ac.jp/		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

国土交通省が定める自動車整備士養成施設の基準に則り、企業から求められる人材育成を目的として企業ヒアリングを行い、授業内容および改善を行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年9月22日現在

名 前	所 属	任 期
千葉 茂	日本工学院八王子専門学校	平成27年3月31日
山野 大星	日本工学院八王子専門学校	平成27年3月31日
荒井 哲子	日本工学院八王子専門学校	平成27年3月31日
堀上 則夫	東京都自動車整備振興会 八王子支部支部長	平成27年3月31日
高橋 孝司	株式会社立川ゲーゼルトオートサービス 代表取締役	平成27年3月31日

(開催日時)

第1回 平成26年9月1日 10:00~10:30 10:45~11:15

第2回 平成27年3月26日 10:00~10:30 10:45~11:15

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

国土交通省が定める自動車整備士養成施設の基準に則り企業が求める人材として見につけるべき知識・技術・ビジネスマナーの課題のヒアリングを行い、実習内容の検討を行う。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
インターン実習	自動車の点検、整備、故障原因探求、総合診断の整備作業と接客実務を企業で体験します。	株式会社立川ゲーゼルトオートサービス

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新の技術力と技能、人間力を修得する。

新たな技術の研究や理解等は教員においては必須のスキルとなっている。また、社会に出た後は、技術だけでなく人間としての成長を求める企業は多いため、学生に技術に加え、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけてもらうための教員研修の実施・継続が不可欠と位置づける。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月22日現在

名 前	所 属	任 期
金子 英明	セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー	平成27年3月31日
細谷 幸雄	八王子商工会議所 事務局長	平成27年3月31日
森 健介	白梅学園高等学校 副校長	平成27年3月31日
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社 代表取締役	平成27年3月31日
古木 勝紀	株式会社バンパー 取締役	平成27年3月31日
石川 仁嗣	医療法人社団健心会みなみ野ハートクリニック 事務長	平成27年3月31日
杉山 一夫	株式会社リンキィディンク 代表取締役	平成27年3月31日
松浦 弦三郎	松浦技術士事務所 代表	平成27年3月31日

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.nhac.ac.jp/news/131129/nhac_report.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.nhac.ac.jp/news/131129/nhac_report.pdf

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 一級自動車整備科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			キャリアデザイン	挨拶・手紙・作文・面接などの基本と一般常識を学び就職試験対策をします。	1・前	15	1	○		
○			ビジネススキル	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・前	30	2	○		
○			自動車基礎	自動車の仕組み・構造・構成部品についての基礎を学びます。	1・前	120	8	○		
○			自動車整備機器	自動車整備に使用する機器工具及びその使用方法について学びます。	1・前	30	2	○		
○			自動車技術	自動車を構成しているエンジン・シャシ・電子電気装置の部品・構造・機構・動作原理について学びます。	1・後	90	6	○		
○			自動車整備基礎	自動車の仕組み・構造・構成部品についての基礎を学びます。	1・後	60	4	○		
○			エンジン整備実習基礎1	ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンの整備技術の基本を、作業を通して学びます。	1・前	70	2			○
○			エンジン整備実習基礎2	ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンの整備技術を、作業を通して学びます。	1・後	70	2			○
○			シャシ整備実習基礎1	ブレーキやサスペンションなどのシャシ整備に関する基本技術を、作業を通して学びます。	1・前	70	2			○
○			シャシ整備実習基礎2	ブレーキやサスペンションなどのシャシ整備に関する技術を、作業を通して学びます。	1・後	70	2			○
○			電装整備実習基礎1	自動車の電気装置に関する電子電気技術の基礎について実習を通して学びます。	1・前	70	2			○
○			電装整備実習基礎2	自動車の電気装置に関する整備技術の基本を、作業を通して学びます。	1・後	70	2			○

○			測定実習	自動車整備に必要な計測を、測定作業を通して学びます。	1・前	40	1			○
○			工作実習	金属加工を通して、その性質や加工方法を学びます。	1・前	20	0			○
○			自動車整備実習基礎	自動車のエンジン整備・シャシ整備・電装整備の基礎的な整備方法を作業を通して学びます。	1・通	80	2			○
○			電子制御実習基礎	自動車の電子制御技術の基礎を実習を通して学びます。	1・通	52	1			○
○			国家2級合格講座	二級自動車整備士国家試験合格へ向けた講座です。	2・後	15	1	○		
○			自動車工学	自動車のエンジン・シャシ・電子電気装置などの動作原理と部品について詳しく学びます。	2・前	90	6	○		
○			自動車整備技術	エンジン・シャシ・電子電気装置の整備方法を学びます。	2・前	60	4	○		
○			自動車総合技術	自動車の故障診断方法の基本など総合的な整備方法を学びます。	2・後	50	3	○		
○			自動車総合整備	自動車の故障診断方法の基本など総合的な整備方法を学びます。	2・後	60	4	○		
○			自動車検査基礎	自動車の検査方法の基礎を学びます。	2・後	20	1	○		
○			自動車整備法規基礎	自動車整備に関する法規の基礎を学びます。	2・後	20	1	○		
○			電子制御実習	自動車のエンジン・シャシを制御する電子制御の原理を具体的に学びます。	2・通	28	0			○
○			エンジン整備実習1	可動エンジンを使用して、ガソリンエンジンとディーゼルエンジンの整備技術を学びます。	2・前	70	2			○
○			エンジン整備実習2	可動エンジンを使用して、ガソリンエンジンとディーゼルエンジンの整備技術を、より実践的に学びます。	2・後	70	2			○
○			シャシ整備実習1	実習車両を使用して、ブレーキやサスペンションなどのシャシに関する整備技術を学びます。	2・前	70	2			○
○			シャシ整備実習2	実習車両を使用して、ブレーキやサスペンションなどのシャシに関する整備技術を、より実践的に学びます。	2・後	70	2			○

○			電装整備実習 1	自動車の電気装置に関する部品の特性を理解することと、その電子制御装置の整備技術を作業を通して学びます。	2・前	70	2			○
○			電装整備実習 2	自動車の電気装置に関する整備技術を、より実践的に学びます。	2・後	70	2			○
○			自動車総合整備実習	実習車両を使用して総合的な整備作業について学びます。	2・通	90	2			○
○			自動車検査実習	実習車両を使用して自動車検査作業について学びます。	2・前	50	1			○
○			ビジネスマナー	就職活動に備え、将来の社会人として必要な知識・マナーを身につけます。	3・後	15	1	○		
○			安全管理	災害防止・防火・防災・救急処置について学びます。	3・後	30	2	○		
○			エンジン電子制御技術	ガソリンエンジンとディーゼルエンジンの最新電子制御について学びます。	3・前	30	2	○		
○			環境保全	資源の有効利用・産業廃棄物処理・汚染物質・工場騒音・工場振動に関する環境保全方法について学びます。	3・後	30	2	○		
○			高度エンジン整備技術	ガソリンエンジンとディーゼルエンジンの最新電子制御整備について学びます。	3・前	30	2	○		
○			高度シャシ整備技術	AT（オートマテイツクトランスミッション）・PS（パワーステアリング）等の最新の電子制御整備技術について学びます	3・前	30	2	○		
○			高度電装整備技術	高度なコンピュータ電子制御装置の整備について学びます。	3・後	30	2	○		
○			自動車検査技術	道路運送車両法の保安規準・自動車検査の詳細を学びます。	3・後	5	0	○		
○			自動車新技術	ハイブリッド車・CNG車・筒内噴射式エンジン・CVT・ブレーキ・スリップ・姿勢制御等の制御技術について学びます。	3・後	30	2	○		
○			自動車整備法規	自動車整備に関する法規及び通達の詳細について学びます。	3・後	10	0	○		
○			シャシ電子制御技術	AT（オートマテイツクトランスミッション）・PS（パワーステアリング）・ABS・オートAC（オート・エア・コンディショナ）等の電子制御について学びます。	3・前	30	2	○		
○			整備機器取扱技術	整備支援機器・高精度計測機器・自動車検査機器取扱い方法を深く学びます。	3・前	15	1	○		

○		総合故障診断技術	最新の故障診断器を使用した振動・騒音を含めた複雑な故障診断技術について学びます。	3・後	30	2	○		
○		応用エンジン整備実習	電子制御技術搭載の実車のエンジンの点検・分解・組立・調整・検査を実習します。	3・前	140	4			○
○		応用シャシ整備実習	電子制御技術搭載の実車のシャシの点検・分解・組立・調整・検査を実習します。	3・前	140	4			○
○		応用電装整備実習	実車の電子制御装置の点検・分解・組立・調整・検査を実習します。	3・後	140	4			○
○		応用自動車検査実習	自動車検査員レベルの検査実習をします。	3・後	20	4			○
○		応用総合整備実習	最新技術搭載の実車を総合故障診断して整備する実習を行ないます。	3・後	140	4			○
○		応用工作実習	手作業・旋盤・フライス盤・溶接などによる金属加工作業を実習します。	3・前	10	0			○
○		応用測定実習	エンジン出力・駆動力やセンサの特性等の測定方法を実習します。	3・前	10	0			○
○		国家1級合格講座	一級自動車整備士国家試験合格へ向けた講座です	4・前	15	1	○		
○		インターン実習	自動車の点検、整備、故障原因探求、総合診断の整備作業と接客実務を企業で実体験します。	4・前	200	6			○
○		サービス・マネジメント	販売士・顧客管理・顧客対応技術・整備見積書作成技術について実習します。	4・前	150	5			○
○		総合実務実習1	顧客管理、顧客対応技術、整備見積書作成技術について実習します。	4・前	60	2			○
○		総合実務実習2	高効率整備作業マニュアル作成、高難度故障原因探求作業、総合診断作業を実習します。	4・後	490	16			○
合計				57 科目	3690 時間(144 単位)				